

利用時間と謝礼の基準

依頼会員…市内に在住・在勤・在学で生後57日目～小学6年生までの子様の保護者の方
提供会員…市内に在住の20歳以上の方で、心身共に健康で積極的に援助活動ができる方
両方会員…依頼会員、提供会員両方を兼ねる方
産前産後会員…市内に在住し家事・育児などが出来る家族がいない妊娠届出以降の妊婦～産後56日
(多胎児の場合は6か月)までの方 利用時間は午前9:00～午後6:00までです。

	利用時間	謝礼額(こども1人当たり)
平日 (月～金曜日)	6:00～7:00	1時間あたり 900円
	7:00～19:00	1時間あたり 700円
	19:00～22:00	1時間あたり 900円
土日祝 年末年始(12/29～1/3)	6:00～22:00	1時間あたり 900円

ひとり親等ファミサポ利用料の助成があります。
(所得制限あり・詳細は市役所こども保育課へ ☎ 043-484-6415)
車で送迎の場合には、1kmにつき目安として30円の交通費が別途必要となります。
自動車保険…車の事故についてはセンターが加入している「移動サービス専用自動車保険」
にて対応します。
補償保険制度…援助活動中の万が一の事故については「地域子育て支援事業補償保険」
にて対応します。(どちらも保険料はセンターが負担します。)

サポート時の感染症対策について



- 1. サポート前の検温・体調確認 2. 手洗いの徹底 3. 手指消毒
- 4. 換気(車内も含む) 5. 支援日誌に体調確認を記入
- ★ご自身を守るために、マスク着用は効果的です。

★ご家族のかたも含め、感染症発生及び学級閉鎖などの際には
サポートはできません。(病児・病後児を含む) 予めご了承ください。

編集後記



あっという間に梅雨が過ぎ、輝く太陽がまぶしい頃となりました。
毎月センターさんの報告を伺うたびに「楽しんでくださっているなあ、楽しみかたが上手だなあ」と感心しています。
依頼者のかたやおこさまに「ありがとう」と感謝していただくことで「嬉しさ」もあると思いますが
「楽しい!」という自分の内面からの好奇心がモチベーションとなり、サポート自体の楽しさを維持すること、長きにわたりファミサポと関わってくださっています。そのセンターさんのひたむきな想いや一生懸命さのエネルギーによって、子育て世帯をそしてファミサポを支えていただいていると思っています。
楽しい気持ちで周りの人たちを笑顔に!そして優しい温かいメッセージが、誰かの希望となりますように★

佐倉市ファミリー・サポート・センター

受託団体 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

住所 〒285-0837 佐倉市王子台1-23
レイクピアスイ3階(イオン白井店)

電話 043-488-1270

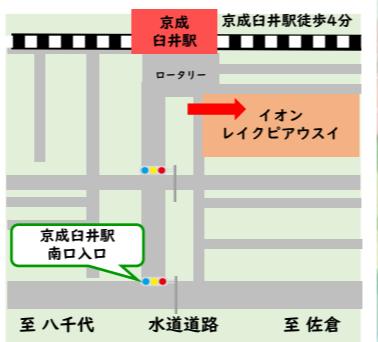
FAX 043-497-6722

開所時間 月～金 午前9時～17時

休業日 土日祝・年末年始

E-mail famisapo@sakura.roukyou.gr.jp

HP <http://sakura.roukyou.gr.jp/famisapo>

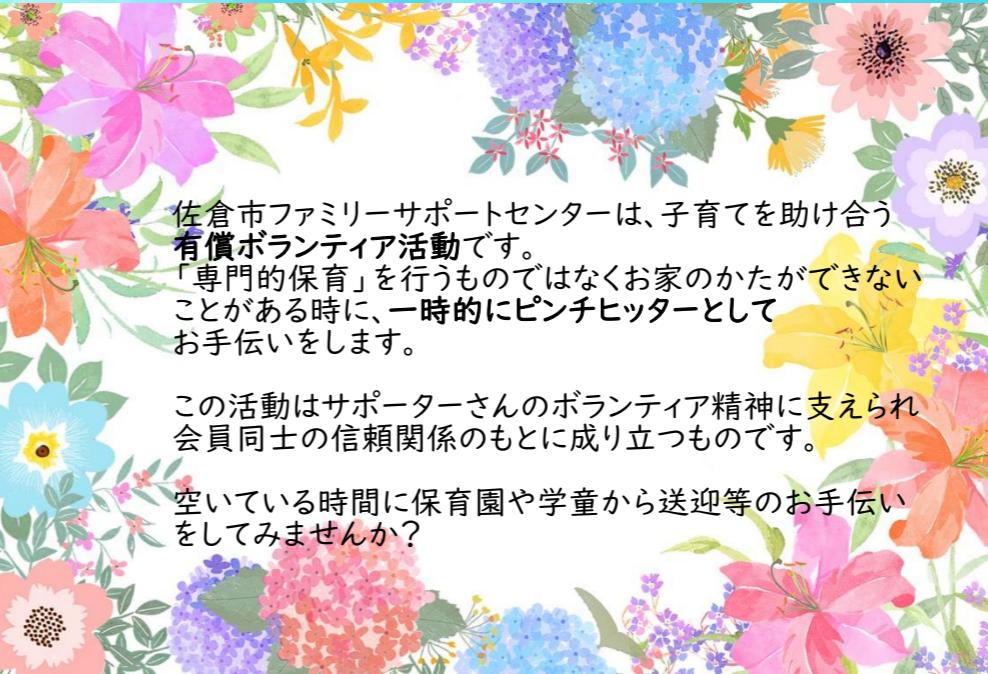


ファミサポ通信

佐倉市
ファミリー・サポート・センター
住所 〒285-0837 佐倉市王子台1-23
レイクピアスイ3階(イオン白井店)
電話 043-488-1270

令和7年7月発行 No.43

会員さん募集中!



佐倉市ファミリーサポートセンターは、子育てを助け合う
有償ボランティア活動です。
「専門的保育」を行うものではなくお家のかたができない
ことがある時に、一時的にピンチヒッターとして
お手伝いをします。

この活動はセンターさんのボランティア精神に支えられ
会員同士の信頼関係のもとに成り立つものです。

空いている時間に保育園や学童から送迎等のお手伝い
をしてみませんか?



ご入会について(HPより)



佐倉市ファミリー・サポート・センターとは?

佐倉市の子育て支援事業であり、子育てを地域で
お手伝いする相互援助の組織です。

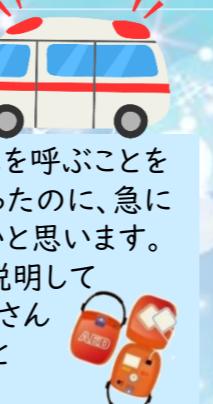
ファミリーサポートセンターは、地域において、「子育てのお手伝いをしたい」「子育ての手助けをしてほしい」人達が会員となり、会員同士で相互に援助活動を行います。お気軽にご相談ください。 電話 043-488-1270



【必修】救急救命



佐倉消防署
久保田 淳さん＊中村 大祐さん



救急救命は実技を実際にやってみると難しさも感じますが、忘れていたことを思い出し、とてもためになりました。 サポーターTさん



【必修】安全・事故 産前産後支援



東京基督教大学講師・保健師
マクドエル綾子さん



人との付き合いが希薄で、相談相手もないママたちの大変さを改めて知りました。できる限り、寄り添ったサポートを心がけようと思います。 サポーターHさん

「事故なんか起きない!起きてほしくない!」と、目をつむるではなく、目を光らせつっこどもの預かり中に起こるリスク(事故・危険・災害等)を予測し対策を講じること
「環境を整えると事故はこんなに減るよ」というリスクマネジメントが重要です。
それでも事故が起きた場合、適切に対処することで更に大きなリスクを避けることに繋がります。サポートをする上で、事故について学ぶことは「こわいこと」ではなく「大切なこと」なのです。こどもたちと一緒に楽しい時間を過ごしましょう!

心の発達とその問題

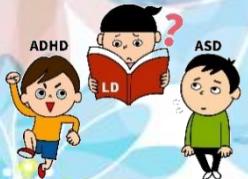


ふれも・市川ラボ・言語聴覚士
西 薫さん



自分が見えない恐怖、見えないことで一步が途端に狭くなったり。そして車椅子は意外と腕力も必要でした。自閉症や発達障害についても、たくさん学ぶことができこの知識がもっと世間に知られたらと思いました。 サポーターKさん

発達障害の特性を正しく理解できるようになることで、感覚過敏への配慮や、見通しを持たせた声かけができ、サポーターさん自身も安心して関わることができます。発達障害のおこさまも日々成長しています。サポーターさんが知識を持つことにより、おこさま自身が落ち着いて過ごしやすくなり、よりよい成長の機会につながることが期待できます。発音の未熟なおこさまは、音を発音するための姿勢・呼吸・唇・舌の動きにアプローチして改善をめざします。例えば『か』が『た』になってしまふおこさまは、のどを伸ばしながら発音するとよいので、ガラガラうがいなどが効果的です。



交通安全指導



佐倉警察署・交通課
山崎祐一さん



みなさん、おこさまの命を預かり保護者の元に無事お帰しする活動をなさっており私も実際にファミサポを利用したことがあるので、素晴らしい活動だと思います。しかしながら、他人の命を預かるということは、事故のリスクもありますし、そといったリスクをいかに減らしていくかがポイントになると思います。
今日、交通安全の研修会でお話した「ゼブラ・ストップ! 危険予知、飲酒運転撲滅」を十分に身につけていただけた嬉しいです。みなさん自身が気付かれたことを実践して今後もより良い活動を続けていただきたいと思います。

こどもの栄養と食生活



ワーカーズコープ・管理栄養士
阿部昭子さん



小さいおこさまの姿を見ると、気持ちがふんわりします。特に食べ物をほおばっている真剣な様子は、「大きくなろう!」という意欲を感じませんか。しかし、この数年で食物アレルギーを有する乳幼児、学童児は格段に増えています。また、ごえんなどの食事中の事故もニュースで見聞きすることがあると胸が痛みます。残念ながら事故は起きてしまいますがその防止策はいくらでもあり、それを怠らない100%の努力がおこさまたちの命を守ることに繋がります。食にかかわる部分で、少しでもお役立ちできればうれしく思います。

研修会日程

日時	場所	講師
9月5日（金） 9:30～12:00	白井公民館 (創作室)	看護師
9月19日（金） 9:30～12:00	志津コミュニティセンター (視聴覚室)	保育士
10月7日（火） 10:00～12:00	ミレニアムセンター佐倉 (第3・4会議室)	こども家庭課
11月6日（木） 9:30～11:30	白井公民館 (創作室)	警察官
11月14日（木） 10:00～12:00	※印西市・合同研修 コスモスパレット	保健師
12月10日（水） 9:30～12:00	ミレニアムセンター佐倉 (第3・4会議室)	言語聴覚士
R8.1月20日（火） 9:30～12:00	ミレニアムセンター佐倉 (第3・4会議室)	栄養士
2月13日（金） 9:30～12:00	志津コミュニティセンター (視聴覚室)	保育士
2月19日（木） 9:30～12:00	白井公民館 (創作室)	保健師

ファミサポ公式HP



研修会
サポーター会議

★日程・内容をご確認ください
令和7年度
研修会・日程表

お申込み ※要予約
☎043-488-1270
メール*QRコードから

研修会について

サポーターさんだけでなく、依頼者のみなさまも受講することができます。

子育てにおいて、とても勉強になる内容です。
一緒に学んでみませんか?

たくさんのご参加をお待ちしております!

